

2020 年度第 11 回執行理事会議事録

日程：2021 年 4 月 3 日（月）10:00～12:30【WEB 会議】

出席者：磯崎，中澤，佐々木，平田，岡田，松田，高嶋，矢部，ウォリス，辻森，星，亀高，坂口，大藤，小宮，狩野，緒方

欠席：なし

事務局 澤木

*定足数（過半数：9）に対し，17 名の出席

*前回議事録（20-10 回）の確定.

報告事項

1. 全体的報告

- ・ 若手会員に対しての意向動向調査アンケートを実施した（実施期間：2/25-3/31）. 75 名回答（回答率 25%）. 結果を取りまとめてニュース誌にて報告予定. 地質系の大学に進学はするが，高校での地学履修率が低いことに対して，高校地学の理系向け開講は難しいので，地理学分野との連携なども今後必要ではないかとの意見があった. また，多くの学生がの自費で学術大会に参加しており，若手が特に学会巡検に参加しやすいよう，学会補助してはどうかなどの意見があった.
- ・ 2021 年度の市民講演会「動物の進化を探る-古生物学の世界-」および地質情報展 2021 あいち に対する科研費は不採択となった. 来年度予算案に追加支出が必要となるため，新たに引当金から計上する旨を本日の理事会で承認を頂く.

2. 運営財政部会（緒方・亀高）

1) 総務委員会

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

- ・ 筑波大学より 2021 年度朝永振一郎記念第 16 回「科学の芽」賞に対する後援名義使用依頼があり，承諾した.
- ・ 第 12 回日本学術振興会育志賞候補者学会推薦の依頼（受付期間 5/27-6/1）【→ニュース誌 4 月号，geo-flash 掲載】
- ・ 東レ科学振興会より令和 2 年度贈呈式延期の連絡があった（地質学関連の受賞者・受領者なし）.
- ・ 2023 年以降開催藤原セミナーの募集案内（締切：7/31）【→ニュース誌 4 月号，geo-flash 掲載】
- ・ 株式会社地圏総合コンサルタントより社長交代のご連絡があった. 代表取締役社長 西柳良平氏
- ・ 一般社団法人資源・素材学会より会長，副会長選任のご連絡があった. 会長 高橋 弘（東北大学）

<会員>

1. 今月の入会者(7 名)

正会員（1 名）：中瀬千遥

正（院割）会員（6 名）：宮崎裕博・ニゴンビマブングラリッサ・榎丸優香・橋本 駿・関 海都・箱守 貴

2. 今月の退会者

2020 年度末退会者：88 名，除籍者：59 名

3. 今月の逝去者(2 名)

名誉会員（1 名）：三梨 昂（逝去日 2021 年 3 月 25 日）

正会員（1 名）：中里俊行（逝去日 2020 年 9 月 14 日）

4. 2021 年 3 月末会員数

賛助：27，名誉：40，正会員：3217 [正：3131，院割：83，学部割：3] 合計 3284（昨年比-162）

<その他>

特になし

3. 広報部会（坂口・小宮）

1) 広報委員会（坂口）

- ・ 第 12 回フォトコンテスト審査結果発表. 画像，講評等は近日 HP 公開予定 . 表彰式は行わない. 5/4-5/17 東京パークスギャラリー（上野公園内）にて展示予定.
- ・ 学会 Q & A に新規質問が 3 件あった（3/16-4/2）. 返答を作成し，確認中.

4. 学術研究部会（辻森・ウォリス・星）

1) 行事委員会（星）

- ・ 本年の名古屋大会は，現地開催行事とオンライン行事の組み合わせにする. 会期は 4 日間の予定（9/4～7）で，口頭発表申込数によっては 3 日間になる可能性あり. 現地開催行事（シンポ，市民講演会）は 9/5（日）. トピック・レギュラーセッションは Zoom を利用したオンライン方式. ポスター発表は Confit の e-Poster を利用. オンライン懇親会も実施する.
- ・ 来年（2022 年）の東京・早稲田大会について，関東支部から日程，LOC メンバー，巡検案等について連絡があった. 日程は 9 月 4 日～6 日または 9 月 11 日～13 日. 巡検コースの詳細について今後検討を進め，秋の理事会までにコースを確定させる.
- ・ 2023 年は近畿支部，2024 年は東北支部での開催を打診する.

2) 専門部会連絡委員会（辻森）

- ・ 現行地質部会が解散予定. 理事会承認事項.

3) 国際交流委員会（ウォリス）

特になし

4) 地質標準化委員会（辻森）

特になし

5. 編集出版部会（大藤・狩野）

1) 地質学雑誌編集委員会（大藤）

(1) 編集状況報告（3 月 31 日現在）

- ・ 2021 年投稿論文：5 [内訳] 論説 4（和文 4），口絵 1（英文 1）
査読中：26 受理済み：20（うち特集号 11 案内書 2）

- ・ 127 巻 3 月号：特集号「富山トラフと周辺部の堆積作用と後背テクトニクス（その 2）」論説 3，通常号 レター 1（62 頁，3/31 発送済）
- ・ 127 巻 4 月号：特集号「堆積学，堆積地質学の日本における進展と展望，最近 25 年を中心として（仮）」総説 3，通常号 レター 1，報告 1（50 頁，入稿中）

2) アイランドアーク編集委員会(狩野)

(1) 編集状況報告【理事会報告資料 02】

- ・ 順調に投稿・受理が進んでいる状態。ただし半数が特集号なので，新たな特集号企画が必要。
- ・ 本年度，ワイリーより印税 200 万円程度が地質学会の収入となる（例年並）。
- ・ 2021 年の IF 値は，1.6→1.3 程度に下がると予想されるが，誤差の範囲程度と考えている。

1) 企画出版委会（小宮）

- ・ ゆめ基金の事業が 2020 年度で終了した。WEB 教材使用は引き続き可能。内容の更新・修正などを業者に依頼する場合は，別途業者への発注が必要となる。

6. 社会貢献部会（松田・矢部・高嶋）

1) 地学教育委員会（高嶋）

特になし

2) 地質技術者教育委員会（佐々木）

(1) 4 月 2 日に 2021 年度第 1 回委員会開催

(2) 2020 年度の活動報告

- ① Zoom による委員会を 3 回開催。それ以外にメーリングリストによる意見交換を月 1 回ペースで実施。
- ② JABEE 関連活動の充実
 - ・ 3 月 7 日（日）JABEE オンラインシンポジウムを開催。Zoom 申込 111 名（講演者などを含む），当日 Zoom，Youtube 計 101 名が視聴。大学，企業，学生と異なる立場から JABEE と CPD について講演。討議も多く，盛況であった。シンポ録画は Youtube に掲載中（4 月 2 日現在 350 を超える閲覧）。当日対応できなかった Q&A を HP に掲載。また，アンケート結果を近々 HP に掲載予定。
 - ・ 2021 年度に以下の事業を実施することを検討中。

高校生を対象とした JABEE&CPD 広報：地球科学を学ぶことは地質技術者という社会を支える重要な仕事につながることであり，そのために JABEE 制度や技術士制度があることを，全国の 800 校の高等学校の進路指導室にポスターなどを配布して理解を深めてもらい，同時に生徒に地質学に興味をもってもらう。その第一段の事業。JABEE 校から協力金をいただき，収支が学会財政に影響がないようにする。/JABEE カリキュラムに係るオンラインシンポジウム：フィールド教育やデザイン教育など JABEE プログラムで重要なカリキュラム内容について，複数の JABEE 校から紹介と議論を行う。/2020 年度の JABEE 継続審査に多くの審査員を学会から推薦し対応中。/地球・資源分野の運営体制についての議論に参画。現在検討中。

- ③ 技術者継続教育（CPD）の環境整備
 - ・ CPD 単位の認証方法などについて支部などに説明.
 - ・ 学会が属する GEO-Net 協議会活動に積極的に参画
- ④ 学会 HP の刷新：これまでの内容を大幅に刷新し，記載内容を充実させた.
- ⑤ 委員の改選：2 年の任期が 2021 年 5 月末に終了．委員継続を前提に新委員の加入などを検討し，6 月の理事会に委員を諮る予定.

3) 生涯教育委員会（矢部）

特になし

4) 地震火山地質こどもサマースクール（松田）

3/31 開催の運営会議では，火山学会からは，抛出金に見合った火山学会，火山学の普及がなされているか，見える化の要望があったとのこと．地質学会も同意見．今後サマースクール実施を積極的にマスコミに取り上げてもらうなど，より広報・普及に関する検討を進めるべきとの意見があった．

5) 地質の日（矢部）

オンライン一般講演を実施する（3 月執行理事会報告）について本日の理事会で説明．周知する．

7. その他執行理事会の下に設置される委員会

1) 利益相反マネジメント委員会（中澤）

特になし

8. 理事会の下に設置される委員会

1) ジオパーク支援委員会（委員長天野：代理平田）

特になし

2) 地学オリンピック支援委員会（高嶋）

- ・ 3 月 20 日 16-18 時にウェブ会議を開催し，日本地学オリンピックの予選問題・本戦問題に関する講評を行うとともに，今後の活動計画を議論した．
- ・ 今年度の出題に関していくつかの表現上の問題点（選択肢で「最も不適切なものを選べ」など）や，史上初の Web 開催となったことから，例年とかなり異なる出題方法であった点が指摘されたが，基本的には良く練られた良問であったと評価した．各予選，本選の試験問題，解答，結果については地学オリンピック日本委員会のサイトに掲載されている (<https://jeso.jp/index.html>)．
- ・ 2020 年の国際大会は中止となったが，地学オリンピック（日本）の上位 15 名に対して，文部科学大臣からの特別賞が授与されたことが，久田健一郎先生より説明があった．
- ・ 2021 年の夏の国際大会については，本選の上位得点者 4 名の出場が決まったが，国際大会もオンラインでの実施が計画されている．
- ・ 地学オリンピックの PR ポスターを学術大会の何らかの場面で掲載できないか打診があった．ポスターは例年 8 月末に出来上がる．これまではジュニアセッション会場で貼られていたが，今年は大会がオンラインでの実施のため，ジュニアセッションの募集のサイト（Web 上およびニュース誌）や地質学会の Website，ジオフラッシュなどへの掲載を検討する．

3) 支部長連絡会議（平田）

東北支部の Web コンテンツが好評。学会全体として Web 戦略を練り、学会広報を進めるべきとの意見があった。

4) 地質災害委員会（松田）

特になし

5) 名誉会員推薦委員会（佐々木）

特になし

6) 各賞選考委員会（中澤）

今後より公平な審査が進むように、賞の推薦方法（専門部会からの推薦方法など）を執行理事会で検討してほしい旨要望があった。

7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会（委員長 堀 利栄；代理 中澤）

特になし

8) 法務委員会（委員長 松田博貴；代理 中澤）

特になし

9) 連携事業委員会（中澤）

特になし

9. 研究委員会

1) 地質環境長期安定性研究委員会（委員長 吉田英一）

特になし

2) 南極地質研究委員会（委員長 小山内康人）

特になし

I 審議事項

1. 理事会議事の確認

2. その他：ワイリーからの Island Arc 賞賞金が廃止される（2022 年度より）ことや学会財政難の状況を鑑みて、今後各賞の賞金の廃止、見直しが早急に必要との議論があった。継続審議とする。

以上

2021 年 5 月 8 日

一般社団法人日本地質学会執行理事会

会長（代表理事）磯崎行雄

署名人 執行理事 中澤 努